

発行者

久宝寺地区福祉委員会
委員長 伊賀 滋
八尾市北久宝寺2丁目1番1号
八尾市 久宝寺出張所内
TEL 922-2233

久宝寺地区



許麻の里

沢辺に生ふる
かきつばた
君か手毎に
水やかかさん

『何でも言わん会特集』 話し合いました!! 久宝寺のまちづくり・住みよい地域づくり

平成27年度『何でも言わん会』報告

久宝寺地区独自の話し合いの場、「何でも言わん会」は、9年前にスタートし、参加された皆さんの声を、まちづくり・地域づくりに反映してきました。昨年度は、自治振興委員会(町会)のブロック別を中心に、各ブロックの地元を会場とし、平成27年10月から平成28年3月にかけて9回開催しました。話し合われた内容は、お互いの地域活動の参考にしたいと頂けると考えます。また、ご意見ご要望は、今後の福祉委員会の活動に活かしてまいります。

久宝寺地区 福祉委員会
委員長 伊賀 滋

□開催ブロックと会場

◇Aブロック .. 栄町、真砂第一・二、旭町、常盤、高砂 (栄町集会所)

◇Bブロック .. 本町一・二・三 (本町公園研修室)

◇Cブロック .. 府住一・二・三 (府住集会所)
新町一・二・三・四・五・六・七

◇DEブロック .. 北府住 (北府住集会所)
北町第一・二、GM一・二・三
中町、西町一・二

◇FGブロック .. 東町一・二・三、老松町、南町一・二・三、南久宝寺神武
シャルム久宝寺緑地 (まちなみセンター)

◇大型マンション・リーデンススクエア・グラン
マークス・チュリス (久宝寺コミセン)

□学校・園

久宝寺中学校・久宝寺小学校・久宝寺幼稚園
白鳩幼稚園・まぶね保育園・久宝寺保育園 (久宝寺コミセン)

以下に、皆さまで話し合われた主な内容と、ご意見・ご要望を、次の項目別にまとめました。

- 1 環境・美化に関する事
- 2 防犯・防災に関する事
- 3 安全・衛生に関する事
- 4 高齢者福祉に関する事
- 5 子ども・子育て・学校に関する事
- 6 町会・福祉委員会の運営に関する事

主催者の回答・コメントを、↓で記しています。また、各意見・要望が出たブロックを、()内に記します。

◇各ブロックの意見と要望

1 環境・美化に関する事

・空き家が多くなってきた。放置されているものもあり、防犯・安全面で危険を感じる。(A・B・C・DE)

↓家主さんに申し出るか、危険や環境上の問題があれば、八尾市には「空家条例」もあり、久宝寺出張所か住宅政策課に相談してほしい。

・府営住宅に空き室が多くなってきた。もつと若い人に入居してほしい。(C)

・ごみ出しのタイミングを守らない人がいて、収集ごみをカラスや猫が漁って散らかしているのを見かける。(B)

↓網掛けの対策をしてはどうでしょうか。

・不法投棄を見つけたので、久宝寺出張所にお願いたしましたところ、すぐ撤去していただいた。

・住民自らが注意し、行動することが大切だ。(B)

・久宝寺地区全体に、公園や道路がきれいになってきているように思う。きれいな町には、犯罪が少ないといわれ、みんなで努力したい。(B)

・地域の清掃を住民自らが活動を行うことは、住民の一体感を育む点で重要と思う。(C)

・町内のゴミ屋敷へ対応していただき有難うございます。一旦は落ち着いたが、またゴミが目立ち始めて心配している。(C)

・近所の公園・道路に、タバコの吸い殻が捨てられているのが散見され、気になる。拾うようにしているが。(C・FG)

↓見かけられたらすぐに拾うようにして頂きたい

八尾市では、「路上喫煙マナーの向上」に関する条例があり、そのもとで久宝寺では、「路上喫煙マナー向上推進エリア」として2カ所が設定され活動をしています。



美しい久宝寺にしましょう!!



府営久宝寺住宅での健康講座 (コスモス会)

2 防犯・防災に関する事

・町会でも防犯・防災に取り組んでいるが、良かったと思う。町内で放火事件があったが、防火バケツのおかげで、大事にいたらなかった。(A)

・久宝寺口で単車への放火事件が発生した。発見が早く、町内に元消防士の方の対応もあり、大事に至らず消し止められた。近隣で同様の事件が数件発生したので、警察へ届け、一緒にパトロールを実施した。(A)

・災害時の「要支援者リスト」をもとにした支援・救助の仕組みづくりと訓練をしてほしい。(B)

・隣接する工場からの臭いに困っている。町会で相談の上、対応したい。(DE)

・近くのコンビニで、夏には日が暮れるまでエンジンの空ふかしをしていて困っている。(DE)

・住宅地が増えてきているが、準工業地域としての扱いは、どうなっているのでしょうか。(FG)

↓準工業地域としては変わっていないが、行政指導は厳しくなっている。
新しい工場は、近年建っていない。
町内の公園を清掃しているが、収集したゴミの回収を市に要請したところ、担当をたらい回しされたことがある。(FG)

↓公園管理については、「アドプトパーク」の締結をしてはどうでしょうか。八尾市土木部みどり課に相談できます。(FG)

(次頁に続く)



頭証寺交差点には、監視カメラが設置されています

- ↓ 手作りの「安否確認リスト」で訓練をしてきたが、今後は八尾市の名簿をもとに具体的な対応を考えたい。
- ・ 高齢独居の人以外に、介護の必要な夫婦への支援対策も必要ではないか。(B)
- ↓ 現在、八尾市では「災害時要配慮者支援プラン」のもと、「避難行動要支援者名簿」を作成している。今後、久宝寺地域としてその運用を決めていくことになる。
- ・ 防犯カメラは、犯罪抑止に効果が大いなので、新設・増設してほしい。(B・DE)
- ↓ 校区まちづくり協議会で、設置効果など優先順位を決めながら設置していきたい。
- ・ 小学校の周辺は、住宅も密集しており安心だが、離れると不審な人を見受けられ不安です。(C)
- ・ 偽宅配便など詐欺まがいの事例が発生しているので注意が必要です。不審な点があれば、町会長や近所の人に相談することが大切と思う。(DE)
- ・ ドアにノックがあるので、出ると誰もいないことがある。いたずらかと思うと不安になり、怖いので出ることも覗くこともできなくなってきた。
- ・ 地域パトロールは、大切に思う。(DE)
- ・ 車上荒らしや、自動車・単車からのガソリンの抜き取りも起こっており、対応をお願いしたい。(DE)
- ・ 町会をまたがる防犯灯の設置は、どのように進めればよいでしょうか。(FG)
- ↓ 防犯灯に関する相談は、図面で明示して、出張所か市に相談して下さい。

3

安全・衛生に関すること



危険な道路上には目立つ表示をしています

- ・ 長瀬川上のデッキが滑りやすく、危険な対策をしてほしい。(A)
- ・ 防犯灯のLED化が遅れているが、住民の要望もあり対応したい。(A)
- ・ 府道の歩道橋のところに横断歩道を設けてほしい。(A)
- ↓ 大阪府警に関わることであり、今までの経過を考えると息の長い取り組みになる。
- ・ タバコのポイ捨ては、空き家・枯れ草も多いので、火災の危険を感じる。(A・FG)
- ・ 町内の要所にカーブミラーを設置してほしい。(A)
- ↓ 可能性があるので対応したい。
- ・ 笛吹川を暗渠にする予定はないのか。マンション前の道が狭くて危険を感じる。(C)
- ↓ 住民の皆さんの要望をまとめられれば、市へ要望ができます。(実施済)
- ・ マンション「グランマックス」裏周辺が暗くて危険を感じる。(C・FG)
- ・ 道路にグリーンベルトが設けられ、横一列の往来が少なくなってきた。(DE)
- ↓ 歩行者や自転車に乗っている人のマナーが悪く、啓発が必要。
- ・ 犬・猫の糞が置き捨てられており、困っている。(DE・FG)
- ・ 自転車が放置されており、処置に困っていた。

4

高齢者福祉に関すること

- ・ 警察に連絡したところ、盗難届が出ていないので、八尾市に連絡するように言われた。(FG)
- ・ 登下校時、子どもが横並びに歩いていて、車が近づいても避けてくれない。危険意識をもってもらいたい。(FG)
- ・ 夜間、許麻神社付近を車が猛スピードで抜けていく。「注意徐行」「スピード注意」などの蛍光看板を掲示してほしい。(FG)
- ・ ミルトン跡地付近の道路から大型車が出てくる。住宅地も増えており、抜け道にされて危険を感じる。(FG)
- ・ 孤独死・孤立死が発生しないように、高齢者の交流と親睦を図るため、集会所を活用した「コスモス会」を毎月開催している。包括支援センター・民生児童委員の支援を受けて、常時約20名が参加している。今後もさらに参加を働きかけていきたい。(C)
- ・ 高齢化にともない、緊急医療対応が必要な機会が増えることが考えられる。(C)
- ↓ 現在、八尾市では「災害時要配慮者支援プラン」のもと、「避難行動要支援者名簿」を作成している。今後、久宝寺地域としてその運用を決めていくが、その活用も考えられる。
- ・ 認知症の方への対応として、コミュニケーションが図れるような場を考えてはどうか。(C)
- ・ 高齢者を中心に、集会所での催しを定期的に開催し、絆が切れないように努力している。高齢クラブには男性が少なく、増やしたい。(DE)
- ・ マンションも高齢化が進んでいる。地震への備えのためにも、コミュニケーションを図り、連携をとれるようにしたい。(FG)
- ・ 高齢者が増えている中、血圧検査など予防医療に力を入れてほしい。(FG)
- ↓ 福祉委員会では、健康講座を開催しており、また、コミセンには保健師がおられるので、検診への参加や利用をしてほしい。

5

子ども・子育て・学校に関すること

- ・ 八尾市の幼稚園政策に疑問がある。「子ども園」について、市が先に決めてから説明にまわっている。実施されれば、子供達は、遠くまで通園しなくてはならなくなるし、また、市の説明にも不合理さを感じる。(A・DE)
- ↓ 市へ再度の説明会を要請します。(実施済)
- ・ 中学生の生徒が校門近くで、また、集団でタバコを吸っているのを見かけた。(A・DE)
- ・ 中学生か高校生か不明だが、夜、団地内に入ったたむろし、不安を感じる。(C・DE)
- ・ 夏の夜間に男女の若者が単車で来て、マンション前の公園に集まり、夜が更けるまで大声で騒ぐ声が聞こえる。(DE)
- ↓ 今回も、児童や学生の行動について、いろいろな心配や苦情が出されました。見かけられた時は、学校に報告して頂きたい。また、学校との対話の機会にも、お話をし、対応して頂いています。
- ・ 学校のみならず、地域としてもみんなで見守り、注意し教えていくことも大切に考えます。
- ・ 年配の人から、子供さんへの声かけ運動について、礼儀作法もよく、よいことをされていると褒めておられました。(DE)



前津川委員長と子どもたちのハイタッチ

(次頁に続く)



「路上喫煙マナー向上推進エリア」を設置するなど啓発活動に力を入れています。ご協力をお願いします！！

6

町会・福祉委員会の運営に関すること

↓ 良い習慣をつけるためにも今後も続けていきます。

- ・子どものいる世帯が多いので、保育園・公園の充実をお願いしたい。(FG)
- ↓ 公園については、八尾市に要望しています。
- ・小学生が増えてきている。保護者会は、組織されており、コミュニティ的なものが出来つつあります。(大型マンション)
- ・同じ学年の子どもでも、子ども会に入っていたり、入らなかったりで、親の意識に関わると思う。(大型マンション)

町会に民生委員児童委員が不在で、他地区の委員のお世話になっている。(A)

町会長の任期が地域で異なり、民生委員児童委員の活動の中で、対応に困ることがある。(A)

自治振興委員を永年務めているが、若い人のボランティア精神が薄くなっているように感じる。このままでは役員だけの活動になるのではないか。(A)

地域の世帯数の減少と高齢化により、町会役員をお願いする人も減ってきて、後継者や町会活動への支障が懸念される。(A・C・DE・FG)

町会活動に協力してくれる人も減ってきている。若い人には仕事があり、頼むのも難しい。(A)

集会所の維持管理に苦慮している。市からの助成で集会所を運営してきたが、規模の関係から助成を受けられなくなった。(A)

町会未加入の世帯があるが、会えない状況にあり、困っている。(A)

班長の交代時期がマチマチなので、検討してほしい。(A)

↓ 町会・班内で決めて頂いてはどうか。一律に決めるのは、なにかと支障も出てくる。

役をやるのがいやや、という声を聞くが、何をやっていいのか、分からないのではないか。(A)

自分の世代に比べて、若い人の方が地域のことを考えているように見える。(A)

地域での活動・行事は、できる範囲で本町 一・二・三町会協同で実施している。「アドプロード」「路上喫煙マナーエリア推進」など大阪府や八尾市支援を受けている町会単位を越えた連帯感も生まれている。(B)

町会・地域活動に貢献した人を、久宝寺地区として表彰する制度を設けてはどうか。(B)

↓ 表彰の評価・判定する基準が難しい。八尾市では、年数・推薦により表彰する制度がある。

町会の担当範囲と民生委員児童委員の担当範囲で違いがあるが、合せることができなにか。(C)

↓ それぞれ、委員の数が異なるので、やむをえない点があるが、担当区域を合せることは考えられる。

ひとり暮らしの高齢者で、足腰や耳も不自由な方に班長が回ってくる。そういう方は、班長の役を飛ばすように考えている。(DE)

老松町会でクリスマス会を開催した。紙芝居・社協から綿菓子子の機械を借りるなどして、約40名の参加があった。(FG)



ひとり暮らしの方々を囲んだ食事会風景

↓ 絆が大切。地域と接触のない人の孤独死が増えており、つながりを深くして地域力を高めていきたい。(FG)

管理組合があり、特に不便は感じていない。マンション独自で防災訓練などを行っている。もともとマンションに住んでいる人は、町会の必要を感じていないのではないか。(大型マンション)

久宝寺地区の学校・園との「何でも言わん会」

平成28年2月12日に、久宝寺コミュニティセンターにて、久宝寺地区の幼児・児童が通う学校・園と、地域の連携をさらに深めるために、それぞれの校長先生・園長先生をお招きして、福祉委員会との「何でも言わん会」を開催しました。今回は、一同に会しての初めての場となりました。

◇参加頂いた方々 (順不同・敬称略)

- 〈学校・園〉
- 久宝寺中学校・木下校長 / 久宝寺小学校 有田校長 / 久宝寺幼稚園・高松園長 / 白鳩幼稚園・田中園長 / まぶね保育園 五十嵐園長 / 久宝寺保育園・山本園長
 - 〈福祉委員会〉
 - 小松顧問 / 高砂美香代 久宝寺小学校PTA会長 / 高砂宗希 久宝寺小学校PTA副会長 / 山本久宝寺幼稚園PTA会長 / 甲斐久宝寺

◇話し合われた内容

幼稚園 次期会長 / 角田 ボランティア部会長 / 佐野 青少年部会長 / 太田 青藍塾代表 / 川藤 民生委員主任児童委員 / 伊賀 総務部会長

・学校・園からは、それぞれの現状と、特に取り組まれていること、地域との連携について報告を頂きました。

また、幼稚園・保育園からは、「認定子ども園」への取り組みについて説明していただきました。

福祉委員会からは、学校・園との今後の連携や協力について、要望や意見が出されました。

「地域の宝」である子どもたちの健全な育成に、学校・園・福祉委員会が一丸となって取り組んでいくことを、確認し合ったよい機会となりました。



防災訓練でのバケツリレー 日ごろの訓練が、いざという時役立ちます！！



頼もしい消防団のみなさん

久宝寺地区研修会 「地域に見つけるライフワーク」

あなたの知識・経験を活かして人に
よろこばれる生き方をしませんか？
講師：パーソナル・アシスタント
リー・ヤマネ・清美先生

平成28年3月6日午前10時から、久宝寺コミュニティーセンターにて、研修会を開催しました。
先生からは、地域活動をするにあたっての考え方や、意義・視点について、次のようなお話をいただきました。

□アンバランスな世の中で、バランスをとる生き方とは

・自分の価値観にあった生き方をしていること。
・暮らしの足元（＝地元）に、人によるよこばれる仕事（＝地域活動）があること。

□地域活動をする人・している人の目的づけどころ

◇地域はコミュニティ、コミュニティは地域の中にあらず
・地理的な地域もあれば、理念やところざしを共有する集団もある。

◇地域のために活動するかたちも多様化している。

・歴史的に形成されたもの…学校・行事・団体など
・地域企業群・地域との協働や連携など
・社会変化の中で生まれたもの…各種ボランティアグループ・NPOなど
・教育、介護、子育て、家事、弱者支援などを目的としたもの
◇ボランティア活動をする人
・人のためになることが自然にでき、自分に合っている。
・気づいているのにやらないのは、気持ちが悪い。
・いろいろな人と、出会いと魅力を得られる。
・終生やれることを見つけると、生き生きとした人生が送れる。

◇自分の役割を認識して、自分の良い点を活かそう。

前に出て活躍する人／後ろで支える人／人達をつなぎ伝える人／特技を活かして支援する人
・ボランティア組織の3つの要件
共通の目的／協力して働く意欲／コミュニケーショ

◇歴史的に形成された地域団体の見え方

・見えないところで、大きな役割を果たしている。
・「まち」中の社交クラブのようなもの。
・男性社会・保守的・上下的・一方的・前例踏襲の傾向がある。

◇これから地域活動をする層の特徴
・デジタルライフスタイルやビジネスセンスをもち、時短的・共感的・自分の得意な分野に特化して、他のメンバーと連携し活動をする。
◇地域も変わってきていることを知ること
・人口と年齢構成 どの層が増えて、どの層が減っているか。

・まちの変化 まちの課題や問題点、地区毎の特徴
◇歴史的に形成された地域団体での試みのすすめ
・現状に合っているか。やり方を見直す。新しい視点で。
・そのためのプロジェクトを発足させる。
・機関紙や広報の仕方を工夫する。
・女性の活躍の場は多い。女性は、先読みができて、感性が優れている。

久宝寺地区住民懇談会 「子どもを取り巻く現状と地域での取り組み」

子どもは地域の宝、子どもの声を地域に
講師 大阪大谷大学 桜井 智恵子教授

平成28年5月29日午前10時から、久宝寺コミュニティセンターにて、55名の参加者のもと、地域懇談会を開催しました。

今、少子化が、大きな問題のひとつになっていきますが、子どもを取り巻く現状は厳しく、「虐待」「いじめ」「孤立」など、事件や課題は、枚挙にいとまがありません。

このような中、子どもを中心にした福祉活動のあり方や視点・取り組み方について学びました。先生からは、子どもとの関わり方の経験をもとにした、お話をいただきました。



南久宝寺神武町会の「遊ぼう会」

◇子どもや親の声を地域に

・子どものSOSをキャッチした時、子どもの痛みを共に分かち合うこと。
困っている家庭や子どもの状況を、正確に把握し、寄り添い支援する社会や地域にしたい。
・親と子どもの孤立は、社会やまち（地域）が追いつめていないことになっていないだろうか。
・大きな声を出せない子どもは、自分を責める傾向にある。
・わかっていてもできない子どももいる。
・忙しい学校を支える地域の支援が必要。

◇競争社会・格差社会の中で

・なぜ、虐待する親がいるのか。なぜ、理不尽な殺傷事件が起こるのか。なぜ、差別や排除があるのか。なぜ、構造的暴力があるのかを考えた。
・競争社会の傾向が強まる中、生きづらさを感じる人が増えている。何が大事で、何が大事でないかを感じる人も増えてきている。
・学校の定員が満たなくても、そこにいる生徒にとっては大切な居場所。学校に來れない子どもでも、そばに居てやるのが大切である。
・競争社会・格差社会の中、子どもが犠牲にならない社会システムや支援策が必要です。

◇居場所と関係づくり

・孤立している親や子どもたちの居場所と関係づくりによる支援が必要。
・食事サービスや学習支援など
・人は、気づかなくてもらっていると実感すること、自分が自分でよいのだと気づき、社会と共にやっていけるようになる。
・教育や子育ての基本は、子どもが、自分自身を認める状態をどのようにつくっていくかにある。
・親だけで子育てを頑張りすぎない、というまなざしを社会で共有できれば、子どもは必ず生きていける。

◇子どもが行きやすく、居やすい場づくりを目指すこと。

・子どもも、高齢者も安心して徘徊できるまちづくりを。
大阪人の「おせっかい」さを発揮することが大切。「どうしたん?」「何してんの?」
・子どもが自身を認める状態をつくること。
・子どもを尊重し、その力を信じ、承認すること。
「大変だったね!」「よくやったね!」

災害時に備えた地域ぐるみの助け合い! 八尾市「災害時要配慮者支援事業」について

八尾市では、災害時に、自力で避難することが困難な「ひとり暮らし高齢者」や、「障がい者」など「避難行動要配慮者」に対して、災害時の避難などの手助けや災害情報の取得などを、地域の助け合いの中で、素早く安全に行うための支援体制づくりが進められています。

その概要について、7月1日、久宝寺地区福祉委員会役員と自主防災組織委員などを対象に八尾市から説明会が開催されました。

阪神・淡路大震災や東日本大震災などの大規模な地震をはじめ、様々な災害が日本各地で毎年のように発生しています。さらに、周期的に発生している南海トラフの地震や、近在の活断層による地震が、高い確率で発生するとされています。

大規模災害発生時には、近隣住民がお互いに助け合うこと（共助）が大切になります。

阪神・淡路大震災でも救出された人の多くが、となり近所の人に助け出されています。

久宝寺地区でも、自主防災組織をもち、毎年防災訓練を実施しています。

さらに、東日本大震災において、「ひとり暮らし高齢者」や「障がい者」が多数犠牲になったことを受けて、災害対策基本法が改正され、八尾市でも、災害時に「避難のお手伝い」を必要とする人（避難行動要配慮者）の「名簿」を、対象の方の同意のもとに作成し、避難支援の体制づくりを進めています。

今後は、これを受けて、久宝寺地区としての支援体制づくりや名簿活用の検討をスタートします。

地域の人たちで助け合う（共助）、自分のことは自分で守る（自助）こそが、被害を少なくする鍵だといわれています。

地域でも日頃から、声かけや地域活動・行事を通じて、コミュニケーション・絆づくりをお願いします。

11月5日（日）には、防災訓練を予定していますので、関係者の方のご参加をお願いします。

【編集後記】

新年度を迎え、今年度もさらに読みやすく親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様のご感想・ご意見をお待ちしています。

（総務部会編集委員会）